

研究会「職場の人権」学習会レジュメ

日本共産党の労働政策について

2025年9月15日

日本共産党元衆議院議員 清水ただし

はじめに

一、大幅賃上げの実現を

- 内部留保の活用で賃上げを
- 中小企業支援の必要性
- 最低賃金の大幅引き上げを
- 非正規ワーカー待遇改善法
- ケア労働者の待遇改善を

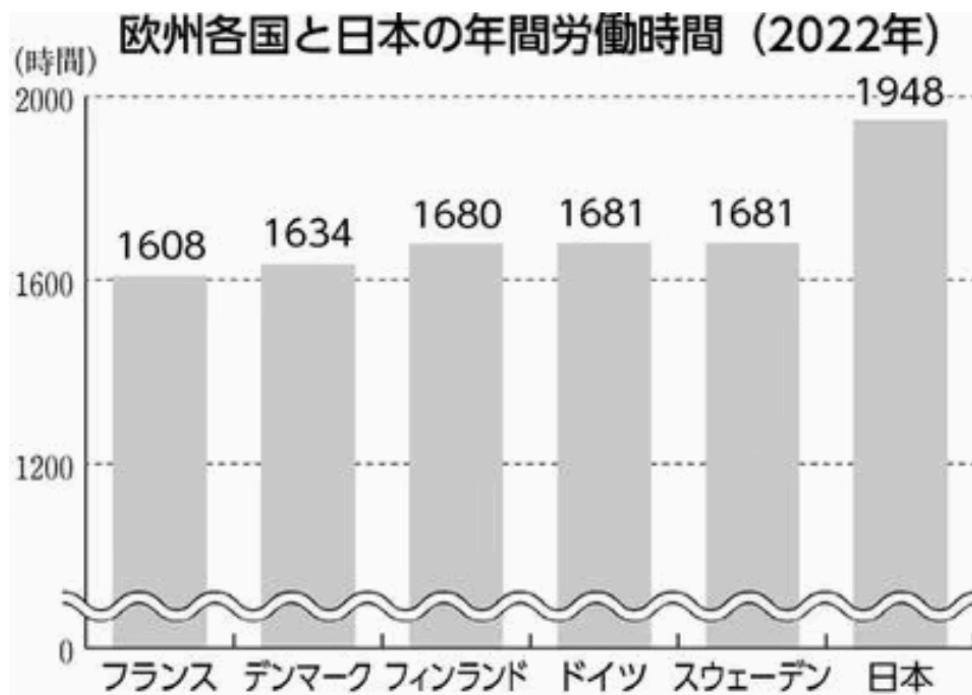
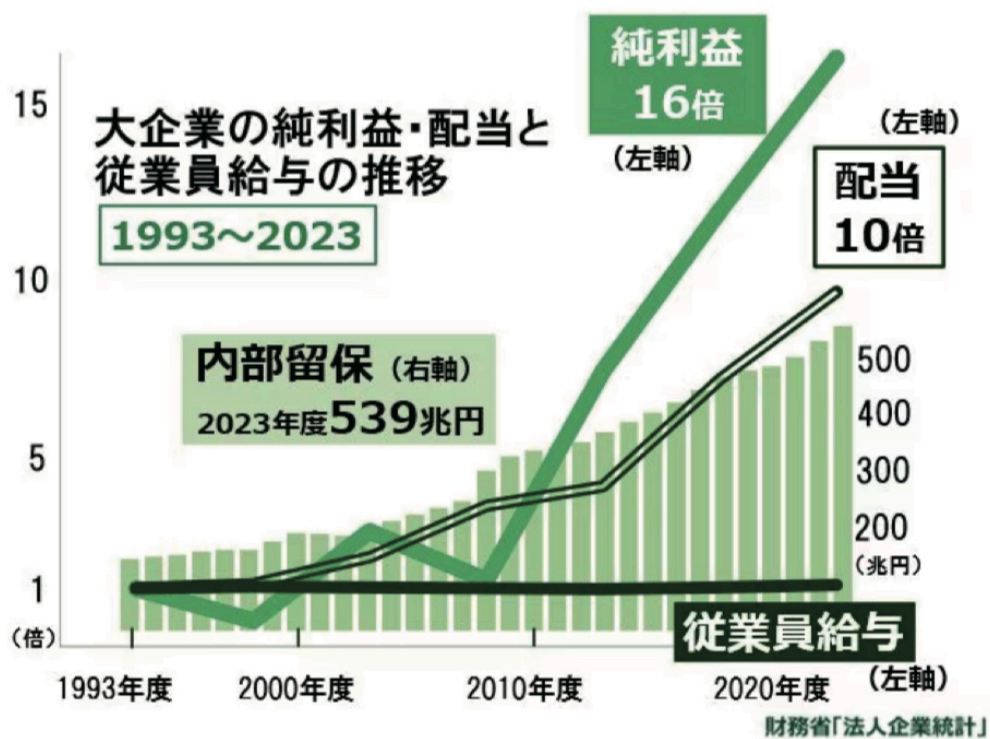
二、賃上げとともに労働時間の短縮を

- 自由時間拡大推進法
- 1日7時間、週35時間労働へ移行
- 長時間労働の規制強化

三、男女賃金格差の是正、ジェンダー平等の推進を

- 同一労働・同一賃金の徹底
- 女性の地位と権利の向上をはかる
- ハラスメントの根絶

終わりに



自分の時間

足りてますか？

「時間がほしい」——現役世代の労働者、子育て家庭、学生、高校生に切実な声が広がっています。「もっと自由な時間をもって、自分を成長させたい」は、身勝手な願いではありません。人間らしく生きるための当然の要求です。

若い世代が
今一番
欲しいもの

1位 お金

2位 **時間**

3位 **自由**

博報堂調査レポート(2024年7月)

賃上げを 中小企業支援と セットで

どこでも誰でも最賃時給1500円以上・月20万円へ。中小企業でも賃上げを保障する財源策をハッキリ提案しています

フリーランス、 ギグワーカー 守るルールを

最低報酬、労働時間、労災補償など保護の適用・拡充

ジェンダー平等 と一体で

男女賃金格差なくす
男性も女性も
子育て・介護と仕事が
両立できる職場に

ケア労働 賃金・労働条件 大幅UP

- 社会保障予算の抜本拡充で
人員不足の解消へ
- 1カ月の夜勤回数、1日の
労働時間に上限を

財源は？

大企業の内部留保に
時限課税で **10兆円**



めざす未来

労働時間

**1日7時間
週35時間**で
普通に暮らせる社会へ

日本共産党
提案

政策委員長の解説動画
山添拓チャンネル

労働基準法を
破る大企業

時短

STOP! 長時間労働

“ザル法”の抜け穴をふさぎルールを強化します

- ① 残業の上限は週15・月45・年360時間まで
- ② 1日2時間超・3日以上連続の残業代は割増率50%
- ③ 「残業代ゼロ制度」(高プロ)廃止、裁量労働制の
抜本見直し

ヨーロッパ並みの 休日へ

健康、家庭、趣味、交流…自分のための
時間を取り戻す

- ① 7日ごとに1休日、連続11時間の勤務
間インターバル規制
- ② 有休最低日数を2倍化・年間20日に

NO! サービス残業

違法なただ働きにはペナルティ
監督体制も国際基準へ

- ① サービス残業には残業代を2倍に
- ② 労働基準監督官を2倍以上に

自民・公明政権は
「1日8時間」労働の破壊
労働基準法の解体

日本共産党

／現在／
実質賃金 年間・1996年～
30年前より **74万円減**
労働時間 ヨーロッパより
年 **300時間**も長い

制度解説	衆議院選挙は2回投票します		
	小選挙区は候補者名	比例代表は政党名	※候補者名では無効になります